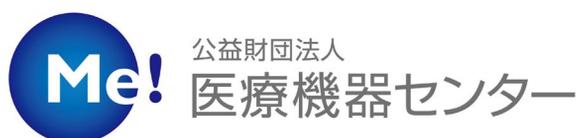




〈エグゼクティブコース〉

NEXT経営人材研修



■医療機器業界の将来を担う人材の育成を目指して

NEXT経営人材研修のねらい

“知っていること”と“使いこなすこと”は違う、これが本研修のコンセプト
“今日の知識”を“明日の知恵へ”を目指した実践的な意思決定能力を磨きます

本研修は医療機器ビジネスに特化し、
基本的な知識の整理とその活用を実際の事例を通して学び、考え、議論をします。

本研修は教わるのではなく、受講生が自ら考えることで学びとるアクティブプログラムです。
貴社の明日を担う人材のリーダーシップ能力を高めます。

主な対象者：医療機器業界、会社のエグゼクティブを目指す中堅社員（30～40代）

プログラム：右表のとおり

●主な進め方

17：00～18：15 講義

18：15～19：30 ディスカッション

※第4回は会社訪問(名古屋)のため、午前に移動、日中に訪問し日帰りでの終日コースとなります。

※中間発表(第5回)、エグゼクティブ講義(第7回)、成果発表(第8回)は19時～20時にて意見交換、情報交換、ネットワーキングを設けております。

●講師陣：厳選したビジネス経験豊富な講師

●課題研究：受講生自ら取り組む任意企業を対象とした分析

✓ 企業全体、買収、製品開発・上市、など

✓ 医療機器産業研究所によるメンタリング、コーチング、アドバイザリング

※医療機器産業研究所の所有資料・書籍等を閲覧、利用可能

※課題研究の成果発表（第8回）は、会社トップあるいは上司の同席が必須

修了証：講義6回のうち5回以上の出席+成果発表の修了者

受講者特典：次年度開催予定の本研修の最終回に聴講参加が可能

課題研究内容に限って、修了後1年間のみ継続的アドバイスが可能

参加により得られるもの

業界若手同士のネットワーキング、幅広い講師陣との人脈、医療業界特有な知識、エグゼクティブになるためのリテラシー、プレゼンテーションスキル、コミュニケーションスキル、リーダーシップスキル、論理的、倫理的アプローチ、資料を読みこなし、考えをまとめ発表する力

オーガナイザー

公益財団法人医療機器センター附属
医療機器産業研究所 上級研究員
高山修一



公益財団法人医療機器センター附属
医療機器産業研究所 上級研究員
昌子久仁子



■ プログラム (案)

※セミナータイトルや講義の具体的内容は一部調整中のため、変更する場合がございます。

第1回 2025年 4月16日(水)	医療機器業界概要 (市場、薬事、保険、市販後)	公益財団法人医療機器センター 専務理事 中野 壮陸
医療機器とは何か？日本、海外の市場の特徴は？開発における規制、市場導入に必要なルールは？製品開発・導入・市販後において戦略的に考えておかなければならないことは？医療機器業界で活躍するために必須な知識、戦略的思考を大事なポイントを取り上げて頭の整理とともに振り返ります。		
第2回 2025年 5月21日(水)	グローバルビジネスと意思決定	Huimin Wang, M.D. 一般社団法人医療システムプランニング 顧問 前Corporate Vice President, Japan, Asia and Pacific Edwards Lifesciences Corporation
医療機器ビジネスはグローバル競争です。画期的医療機器の開発、臨床導入、市場開発の実際を、グローバルビジネスの観点から学びます。担当はグローバル企業のExecutive leadership teamに所属し、アジア、パシフィックを管轄したビジネスマンです。グローバル企業における意思決定のあり方を学びます。		
第3回 2025年 6月18日(水)	財務とビジネス	株式会社IDOM 取締役CFO 西端 亮氏
財務なくして経営はあり得ない。これは誰もが理解していることです。しかし、それを経営指標から経営戦略に活かしているのか、これが分岐点です。技術導入、M&A、資金調達などこれからの経営に不可欠なテーマに合理的かつ論理的、社外からの信頼を得る財務をビジネスを絡めて学びます。		
第4回 2025年 7月16日(水) 終日(名古屋)※ ※スケジュール(案) ～13:30 移動 13:30～16:00 会社訪問 16:00～ 解散予定	新事業開発と資金調達	Craif株式会社 最高技術責任者 市川 裕樹氏 (博士(薬学))
革新性の高い技術をビジネススキームに乗せながら社会実装を目指すためには、技術・ヒト・カネ・開発環境そして市場等の多くの要素を融合させながら推進していく必要があります。今回は、尿を利用したあらゆる疾患の早期発見と治療最適化を目指しているスタートアップ企業である株式会社クライフに訪問し、新事業開発と資金調達の実際の現場を学びます。		
第5回 2025年 9月17日(水)	課題研究の中間発表	ファシリテーター 医療機器産業研究所上級研究員 高山修一 医療機器産業研究所上級研究員 昌子久仁子
受講者が選定した任意企業の分析の中間発表を行います。受講者同士の討議に加え、医療機器産業研究所の研究員総勢でアドバイスをを行います。ここでのディスカッションが課題研究の質を高めます。		
第6回 2025年 10月15日(水)	ケースメソッド授業	慶應義塾大学大学院 経営管理研究科教授 後藤 励氏 (医師・経済学博士)
KBS(慶應義塾大学大学院経営管理研究科)のケース教材を用いたワークショップです。実際の企業の経営課題を題材に、参加者は当事者の立場で分析・検討を行い、講師のリードのもとでディスカッションを重ね、最終的な意思決定を行います。 ※テーマ調整中		
第7回 2025年 11月19日(水)	エグゼクティブ講義	公益財団法人がん研究会 理事長 旭化成株式会社 特別顧問 浅野 敏雄氏
医療機器メーカー(旭化成)と病院(がん研有明)という異なる2つの組織を統括してきた経験を通じて、エグゼクティブに求められる複眼的な洞察力とリーダーシップを養い、VUCAの時代(変動性、不確実性、複雑性、曖昧性)に対応する方法を学びます。		
第8回 2025年 12月17日(水)	課題研究の成果発表 ・会社の上司の同席 ・次年度以降は前年度までの受講者が参加可能	ファシリテーター 医療機器産業研究所上級研究員 高山修一 医療機器産業研究所上級研究員 昌子久仁子
これまでの講義から学んだことを踏まえ、中間発表でのディスカッションを通してより深い洞察、考察を加えた課題研究の最終発表を行います。上司の方はぜひご参加をお願いします。		

